

# Tobu通信

鳥取県教育委員会事務局  
東部教育局  
〒680-0061鳥取市立川門六丁目176番地  
東教発 R 8. 4. 8 No.185  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/t-kyoiku/>

## 新年度にあたり

局長 岡村 吉隆

今年度、東部教育局長に就任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

先日、ある先輩が局内に残して下さっていた色紙の言葉が目にとまりました。

「障子を開けてみる。外は広いぞ」

この言葉は、急速な社会の変化、価値観の多様化への対応が求められている現代の教育現場において、私たちが持つべき視点と勇気を鋭く示唆しています。

現在、教育現場は困難な中にあります。新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の定着、学力向上、そして不適応や不登校といった課題への対応など、求められる役割は複雑化し、重みを増しています。その一方で、深刻な教職員の人材不足という極めて厳しい現実と直面しています。本来であれば、万全の体制を整えて先生方をお迎えすべき立場にありながら、現場に大きな負担を強いている現状に対し、申し訳ない思いで胸が痛みます。この厳しい環境下でも、子どもたちのために日々尽力されている皆さまに、心より敬意と感謝を申し上げます。

こうした困難な時だからこそ、私はこの「障子を開ける」という言葉を指針にしたいと考えています。日々の校務に追われると、どうしても既存の枠組みや慣習という「障子」の内側に閉じこもりがちになります。しかし、外部の専門家、ICTの活用、地域社会との連携など、「外」にある多様なリソースを積極的に取り入れることで、新しい教育の形が見えてきます。

東部教育局は、先生方が一人で課題を抱え込むことのないよう、常に寄り添う伴走者でありたいと考えています。多様な価値観が交錯する時代だからこそ、正解を一つに絞らず、障子の外にある新しい知見や支えを共に取り入れていきましょう。

現場の声を真摯に聞き、先生方が誇りを持って子どもたちの成長を支え、共に笑顔になれる環境づくりができるよう、精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



## 新年度スタート！！学級環境を整える4つのポイントを紹介

### ポイント① 「場・時間の構造化」

日常の周囲の環境(時間、場所、空間、手続きなど)を分かりやすく視覚的に整理します。

- 教室内の物の置き場所を決め、整理整頓されている。
- 児童生徒が見通しを持って活動できるように提示されている。
- 終わりがはっきりわかるような指示の出し方をしている。

### ポイント② 「刺激量の調整」

集中や注意の持続を促すためには、静かな環境や掲示物の場所や量を調整するなどの配慮が必要です。

- 教室の前面の壁の掲示は、学習中の集中を妨げないようなものになっている。
- 教室内・外の刺激となる音が、できるだけ入らないよう配慮している。

### ポイント③ 「ルールの明確化」

言葉で言われたこと、暗黙の了解など、目に見えないことを見えるように視覚化し、共有・確認します。

- 当番活動などの役割について、分かりやすく示している。
- 学級内のルールは、わかりやすく実行しやすいものになっている。

### ポイント④ 「お互いを認め合う工夫」

お互いを認め合うことができれば、とても居心地のよい学級環境となります。

- 個々の目標を明確にして、継続した指導を行っている。
- 座席やグループ編成において、落ち着いて生活できる場となり、わかり合えるような友だちがいるよう配慮している。
- 学級の状況や方向性について、保護者会などで理解が得られるように説明している。



【二次元コード】

詳しくは、令和4年9月6日発出のTobu通信号外で紹介しています。ぜひご覧ください。



特別支援教育研修サイト「まなびの広場」に通常の学級担任の実践「子どものために 自分のために」を掲載しています。学級環境や授業づくりのポイントがたくさん紹介されています。年度初めに校内研修の一つとして、ぜひ全教職員で御視聴ください。



【二次元コード】

学級環境の整備は、すべての児童生徒にとって「わかる」「できる」を支える大切な視点です。多様性・包摂性を尊重した学習者主体の授業づくり、学級・集団作り、教室環境の整備等、通常の学級における基礎的環境整備について、年度初めに学校全体で共有・確認をお願いします。

# 東部教育局主催ワークショップ・研修会のご案内

東部教育局では、各種事業、要請訪問での指導助言等を通じて、各園・学校にかかわらせていただいています。その他にも、次のような機会を設定して、東部地区の学校教育の充実に努めているところです。今年度の主な予定は次のとおりです。多くの御参加をお待ちしております。

## <各種ワークショップ等>

### 授業づくり（2回/年）

- ◆**エキスパート教員に学ぶ**  
 時期：令和8年8月（予定）  
 対象：小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員
- ◆**研究主任等研修会**  
 時期：令和8年8月7日（金）（予定）  
 対象：研究主任及び希望する教職員  
 内容：授業改善、学力向上、校内研究について（予定）

### 特別支援教育（2回/年）

- 時期：令和8年4月28日（火）、令和8年7～8月（予定）
- 対象：特別支援学級の担任、特別支援教育主任等
- 内容：特別支援教育についての情報共有や演習を行う。

### 社会教育（2回/年）

- 時期：令和8年12月～令和9年1月頃（予定）
- 対象：教職員、公民館職員、地域の方等
- 内容：ふるさとキャリア教育やコミュニティ・スクールについて、情報提供や協議・演習を行う。

### 幼保小連携・接続（1回/年）

- 時期：令和8年6月23日（火）（予定）
- 対象：園、小・義務教育学校、特別支援学校の教職員等
- 内容：
  - ・遊びを通して学ぶ幼児教育の特性と小学校教育のつながりについて、対話を通して学び合う。
  - ・架け橋期のカリキュラムの活用法について（予定）

## <研修会>

### 東部地区幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会（3回/年）

- 時期：令和8年6月頃（未定）、10月5日（月）、11月16日（月）
- 対象：園、小・義務教育学校、特別支援学校の教職員等

## 一転出者の紹介一

- 局長 蓮佛 俊敬  
(鳥取市立城北小学校へ)
- 学校教育担当係長 皆川 恵子  
(鳥取市立鹿野学園へ)
- 学校教育担当指導主事 坂本 浩二  
(八頭町教育委員会へ)
- 学校教育担当指導主事 中林 真彦  
(教育人材開発課へ)
- 社会教育担当社会教育主事兼指導主事 山根 聡 (人権教育課へ)

## 一転入者の紹介一

- 局長 岡村 吉隆  
(鳥取市立湖山西小学校から)
- 学校教育担当係長 渡邊 由美  
(小中学校課から)
- 学校教育担当指導主事 土海 真由美  
(鳥取市立高草中学校から)
- 学校教育担当指導主事 谷本 忠士  
(鳥取市立倉田小学校から)
- 社会教育担当指導主事 土井 祥久  
(八頭町立郡家東小学校から)
- 学力向上支援員 藤原 憲道  
(鳥取市立中ノ郷中学校から)



## 東部教育局内の担当分掌を紹介します

局長 岡村 吉隆 次長 有岡 博己

学校教育担当 TEL 20-3669～3675

学事担当 TEL 20-3666・3667		担当	主な分掌
担当	主な分掌	係長 渡邊	○学校教育指導の総括 ○市町教委・関係課との連携 ○研修派遣
係長 本庄	○中学校人事管理	指導主事 漆原	○学力向上 ○進路指導 ○中学校教育課程
係長 宮前	○教職員の給与・旅費 ○共同学校事務室の運営・支援	指導主事 渡繪	○生徒指導 ○教育相談 ○小学校教育課程 ○外国語教育 ○国際理解教育
管理主事 國富	○小学校人事管理	指導主事 西小路	○特別支援教育 ○福祉教育 ○環境教育 ○安全教育
会計年度任用職員 坂本	○局内庶務	指導主事 谷本	○ICTを活用した教育活動 ○情報教育 ○エキスパート教員
		指導主事 土海	○道徳教育 ○図書館教育 ○教科用図書
		指導主事 宮脇	○幼児教育 ○幼稚園教育課程 ○健康教育 ○研修に関すること
		教育相談員 原田	○教育相談
		保育・幼児教育専門員 矢部	○園の訪問指導 ○研修支援
		特別支援教育専門員 吉田	○特別支援教育に係る訪問・支援
		学力向上支援員 藤原	○「とっとり学力向上支援チーム」による学校支援
社会教育担当 TEL 20-3676			
担当	主な分掌		
次長 有岡	○社会教育の総括		
指導主事 土井	○社会教育 ○人権教育 ○家庭地域の連携 ○学校体育 ○ふるさとキャリア教育		